

金誌

ふるさと いばら

平成22年5月
井原郷土史研究会
安佐北区白木町井原
第19号



陽春の陽射しに映える胡堂から
養泉寺本堂の大屋根が見通せる



胡堂（えびすどう）

文政二年（一八一九）の古記録によると、上ミ市・下ミ市に胡堂二社とある。けれども現在は一社しかない。何故に一社となったかは不明である。

祭神 「夷三郎」 えびす いざなぎ いざなみ 伊勢岐・伊勢美の二神の第三子とも、七

福神の一つ「恵比須神」とも言う。商業・農業・漁業の守護神で、福をもたらす神として祠る。

祭日 四月二十日 春祭 十一月二十日 秋祭

氏子四戸宛が当番で祭日の前日に、社殿内外の清掃・幟を建て、祭費を全氏子からつなぎ集め、祭壇を飾り祭場を整えて神官を案内する。

井原からの近隣町村への里程は、胡堂より測って決められたもので、文政二年の記録に載せてある。

里程 当村市胡堂より

長田村高大内迄 一里二〇町（一里は約四km）

有留村里栗谷迄 一里

市川村順教寺迄 二八町

古屋村魚切り迄 一里 吉田町へ

甲立町へ 四里 三次町へ

豊田郡乃美市へ 四里 高宮郡可部町へ

賀茂郡堀市へ 二里 広島へ

三里 八里 六里 八里半